【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和6年7月10日(2024.7.10)

【国際公開番号】WO2022/071052
【出願番号】特願2021-561935(P2021-561935)
【国際特許分類】
Ｄ０１Ｆ　9/22(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 63/02(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 69/08(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 71/02(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 53/22(2006.01)
Ｂ０１Ｄ 69/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０１Ｆ　9/22
Ｂ０１Ｄ 63/02
Ｂ０１Ｄ 69/08
Ｂ０１Ｄ 71/02　５００
Ｂ０１Ｄ 53/22
Ｂ０１Ｄ 69/12

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月2日(2024.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
繊維直径が長手方向に変動しており、繊維直径の変動から計算されるＣＶ％が１％以上１０％以下であり、前記繊維直径が、長手方向に周期変動することを特徴とする、多孔質炭素繊維。
【請求項２】
前記繊維直径の平均値が２０μｍ以上５０００μｍ以下である、請求項１に記載の多孔質炭素繊維。
【請求項３】
少なくとも一部に共連続構造を有する、請求項１又は２に記載の多孔質炭素繊維。
【請求項４】
前記共連続構造の構造周期が０．００２μｍ以上２０μｍ以下である、請求項３に記載の多孔質炭素繊維。
【請求項５】
前記繊維直径が、長手方向０．１ｍの区間において３％以上１０％以下変動する、請求項１～４のいずれかに記載の多孔質炭素繊維。
【請求項６】
前記周期変動の周期が２０ｍｍ以上１００００ｍｍ以下である、請求項１～５のいずれかに記載の多孔質炭素繊維。
【請求項７】
請求項１～６のいずれかに記載の多孔質炭素繊維、及び、分離機能層を有することを特徴とする、ガス分離用複合膜。

【請求項８】
請求項７に記載のガス分離用複合膜が収容されてなるガス分離膜用モジュール。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
繊維直径が長手方向に変動しており、繊維直径の変動から計算されるＣＶ％が１％以上１０％以下であり、前記繊維直径が、長手方向に周期変動することを特徴とする、多孔質炭素繊維。